

学位授与方針 [博士(工学)] [博士(学術)]

(1) 機械システムコース

■ 知識・理解

- 機械工学の高度な専門的学力を有し、かつ「エネルギーシステム分野」あるいは「設計加工システム分野」のいずれかの学問分野における創造的・実践的知識をもつ。

■ 技能

- 機械工学の専門的技能及び実践的な技術開発能力を身につけ、研究者及び教育者として自立して問題を解決する能力をもつ。

■ 思考・判断・表現

- 環境と調和したエネルギーシステムの構築など、環境を踏まえて広い視野で新たな問題に対処できる思考力・判断力を有する。また、高度な学術研究活動を通じて独創的かつ有意義な情報発信ができる。

■ 関心・意欲・態度

- 機械工学における技術開発への強い関心と意欲をもち、研究者及び教育者の立場から、問題の本質を明らかにし、適切に対処法を探索する意欲、態度をもつ。

(2) 建築デザインコース

■ 知識・理解

- 建築学を過去から未来へ繋がる豊かな人間環境と空間形成として理解し、総合的な視点から建築学の本質を深く理解し、本分野の高度専門知識と創造的・実践的知識をもつ。

■ 技能

- 建築を安全にする能力、快適な空間を提供する能力、芸術性を表現する能力等、より高度な建築技術開発能力を駆使し、研究者及び教育者として自立して問題を解決する能力をもつ。

■ 思考・判断・表現

- 建築学における社会的事象に対して国際的視点から課題を抽出して、その解決のための自らの思考・判断のプロセスを説明し、独創的かつ有意義な情報の発信ができる。

■ 関心・意欲・態度

- 地域や組織の中で他者と協力して計画的にプロジェクトを推進することができ、より高度な学術研究の立場から問題解決の意欲、態度をもつ。

教育課程編成・実施方針

深い専門知識と高度な自主・自立の人格を身につける教育課程により、持続可能な社会を創成するために必要な条件やビジョンを自らの研究を通して体系化できる人材の育成に努める。

- 「専門科目」から6単位以上修得する。「特別研究科目」から6単位を修得する。

専門科目

(1) 機械システムコース

環境負荷の低減と経済発展の両立を“持続可能な開発”と捉える視点及び環境改善を第一の目標とする視点を持つことのできる高度な人材、また、グローバルな視点を持つ機械工学分野の研究者及び教育者の育成を目的とする科目区分とする。

(2) 建築デザインコース

未来へ繋がる建築を実現できるより高度な専門的知識を身につけるとともに技術者倫理を理解した国際的・学際的に活躍できる研究者及び教育者を養成することを目的とする科目区分とする。

特別研究科目

研究能力やより高度な専門技術を身につけるために直接、個別指導を受ける必修の科目区分とする。

入学者受入れ方針

環境工学専攻博士後期課程では、以下のような人を求めています。

- 環境問題について幅広い関心を持っている人
 - 専攻する学問分野の知識を備え、高度な専門性を活用する努力をいとわない人
 - 創造力と自主性を備え、先端研究分野に挑戦する意欲を持っている人
 - 技術者・研究者に必要な一定の教養・倫理観を身につけている人
 - 日本語・英語のコミュニケーション能力の向上に意欲を持っている人
- (1) 機械システムコース
- 機械工学に関する専門的な知識及び技術を修得しており、更に高度な専門性を身につけようとする意欲を持った人
 - 環境負荷の低減と経済発展の両立を“持続可能な開発”と捉えるとともに、高度な機械システム技術を活用しながら、国際的・学際的に活躍できる研究者及び教育者を目指している人
- (2) 建築デザインコース
- 未来へ繋がる建築を実現できるより高度な専門知識の習得を目指している人
 - 技術者倫理を理解した国際的・学際的に活躍できる研究者及び教育者を目指している人